



発行 党員委員会
日本共産党
春日部市中央
春日部市
7-10-9
電話 736-9933
FAX 736-9991

7月臨時議会

党市議団の要望実現

コロナ対策で25億円の補正予算

8(水)、第2回臨時議会が開かれました。市長提案の補正予算など3件はすべて可決されました。日本共産党は全議案に賛成しました。

敬老会中止 75歳以上全員に2千円の商品券贈呈

通常国会で、政府の第2次補正予算が可決し、2兆円の「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」が地方公共団体に配分されました。春日部市には16・4億円が交付されました。

このほかに公立学校情報機器整備費補助金など8・37億

円が交付され、総額25億円の補正予算となりました。

主な事業は次の通りで、党市議団が要望した内容が多く含まれています。

1、総務費

オンライン会議実施に向けて本庁舎・公民館などにパソコン12台、大型ディスプレイ12台等設置 (499万円)

2、民生費

①生活困窮者自立支援事業として住宅確保給付金の増額・相談支援員2名増。6月末で100件給付、今後増加の見込み約360件分予算化。(1億1414万円)

②敬老会中止に伴い、75歳以上全員に1人あたり2千円の市内共通商品券を贈呈。約3万6500人(8272万円)

③低所得者ひとり親世帯に5万円を支給。第2子以降3万円ずつ加算。約2500世帯。(2億6124万円)

④4月28日～12月31日の新生児に1人10万円の特別給付金を市内共通商品券で支給。(9726万円)

③低所得者ひとり親世帯に5万円を支給。第2子以降3万円ずつ加算。約2500世帯。(2億6124万円)

④首都圏外かく放水路見学会の参加者向けにプレミアム付商品券を発行、7～12月。(2610万円)

⑤、土木費
市内路線バス3事業者、タクシー事業者3法人と個人12事業者に対する運航継続支援。(2300万円)

⑥、教育費
①児童・生徒ひとり1台のパソコン整備。約1万6900台。(9億1975万円)

②学習支援として高校生世代に3千円の図書カード配布、約6500人。(2852万円)

④首都圏外かく放水路見学会の参加者向けにプレミアム付商品券を発行、7～12月。(2610万円)

⑤、土木費
市内路線バス3事業者、タクシー事業者3法人と個人12事業者に対する運航継続支援。(2300万円)

児童・生徒の希望者にインフルエンザ予防接種を提案

フルエンザ予防接種を提案

インフルエンザ予防のため児童・生徒の希望者に予防接種を提案しました。実現できると引き続き要望します。

秋山文和県議会報告



空きベッド補償など補正予算成立 家賃支援・検査体制強化も

県議会6月定例会が7月3日閉会しました。補正予算2件総額1591億円など知事提出議案12件、議員提出議案8件が可決成立しました。

コロナ第2波へ 備え万全に

成立した補正予算で行う主な感染症対策事業として
① 医療機関等への感染防護具等の追加配布94億円

② 入院病床確保・空床補償・設備整備302億円

③ 郡市医師会が行う発熱外来PCRセンターの検査体制拡充と3月までの継続13億円

④ 疑い患者受入れのための救急・周産期・小児医療機関の院内感染防止対策82億円

⑤ 医療機関・薬局等の感染拡大防止対策122億円

⑥ 患者と接する医療従事者・職員への慰労金支給178億円

⑦ 市町村事業への補助20億円など計822億円を計上しています。

このほか感染症の影響により厳しい経営環境にある県内中小企業・個人事業主等に対する家賃支援(借主及び家賃を減額した貸主)に120億円、中小

企業に対する資金繰り支援として県制度融資の融資枠を8000億円から1兆2000億円に拡大する利子補給などに56億円を当てています。

保健所疲弊、体制強化と増設を

日本共産党から守屋裕子議員(川越市)が一般質問に立ちました。この間新型コロナウイルス感染症対策の最前線を担ってきた保健所は、この30年間で24所4支所から17所へと4割減。職員も予算も減らされました。

2月から5月には電話が殺到し、業務量がオーバー状態です。県東部の保健所長は「夜中でも救急隊に対応、そのままだ出勤」「電話で罵声を浴びることはたびたび」「職員が倒れるのではないかと心配した」と語りました。

守屋議員は「保健所は、地域

住民の健康を支える中核となる施設。もつと拡充すべき」と大野知事に迫りました。

知事は、「今後しっかりと検証し、検討する」と答えました。

この他、「PCR検査体制強化・対象拡大、医療体制整備」中小企業・個人事業主へのさらなる支援「休校で損失を受けた給食食材納入業者への補償」「学校再開に当たって、ゆとりある教育へ」「危機に瀕する文化・芸術活動への支援」「川越特別支援学校教室不足の解消を」を取り上げました。

埼玉県住宅供給公社事業対策特別委員会で秋山文和議員は、「県営住宅は倍率が高く、入るのが難しいが空き室も2割程度ある。リフォームして早く貸し出すよう」求めました。担当課は、「県全体で入居率は86%。3DKの間取りが多く単身入居希望とマッチしない。3人用を2人でも入れるようにした。単身用も増やしたい」と答えました。

市立医療センター Tel735-1261(夜間毎日、土・日・祝日の昼間)内・外 救急電話相談#7119(毎日24時間)

7/12(日) 分娩館医院(外科系)備後西5-4-28 Tel739-3883

成松医院(内科系)上蛭田64-1 Tel763-5211 浜崎医院(小児科系)備後西3-8-57 Tel745-6000

7/19(日) 豊春内科小児科クリニック(小児科系)上蛭田681 Tel760-2300

三須医院(内科系)粕壁東1-11-12 Tel752-2200 館浦整形外科医院(外科系)永沼2229-1 Tel746-4832

休日の当番医